

シリーズ第6話

## 尿路結石・前立腺肥大の方に 朗報です ホルミウムレーザー装置導入！

男性は加齢とともに、トイレが近くなる、尿が出にくくなるなど排尿に関する症状が現れる方が多くなり、その原因のほとんどが前立腺肥大症で、70〜80歳代の7割以上に存在するといわれています。

前立腺は膀胱の下で尿道を取り囲むように位置しており、肥大した場合、尿道を圧迫し、排尿障害を引き起こします。軽症の場合、内服治療が有効ですが、重症になると手術が必要となります。従来、前立腺が大きい場合は、出血や合併症が多くなるため、開腹手術を行っていました。

この装置を使うことで、従来の前立腺摘出術に比べて患者さんの痛みも軽減され、入院期間の短縮も可能となりました。

欧米では、1996年ごろから行われており、手術の安全性や長期治療実績は従来の手術方法（TURP）より良好で、もはや前立腺肥大に対する治療法の主流となっています。

日本全国ではまだ60施設でしか行われていませんが、今後普及し、標準的手術法になると注目されています。

また、従来の方法では砕くことができなかった硬い尿路結石に対しても、このホルミウムレーザー装置を用いることで良好な碎石効果が得られるようになりました。

このレーザー治療は健康保険が適用されますので、治療費を

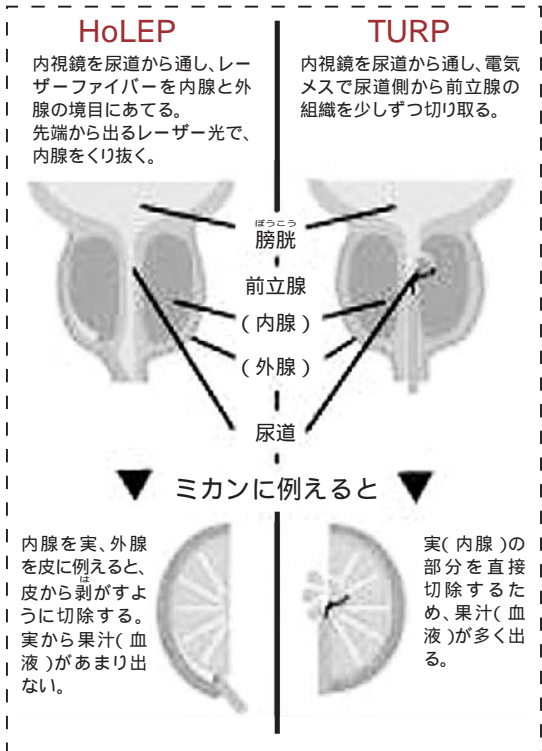
全額自費で払うという心配はありません。

前立腺肥大症で薬を飲んでいけるけれど症状が改善しない方、排尿障害があるけれどまだ治療を受けていない方などは、一度泌尿器科専門医へご相談ください。



新城市民病院 泌尿器科  
部長医師 高田三喜

### 【HoLEPとTURPの違い～治療のイメージ比較】



2007 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

